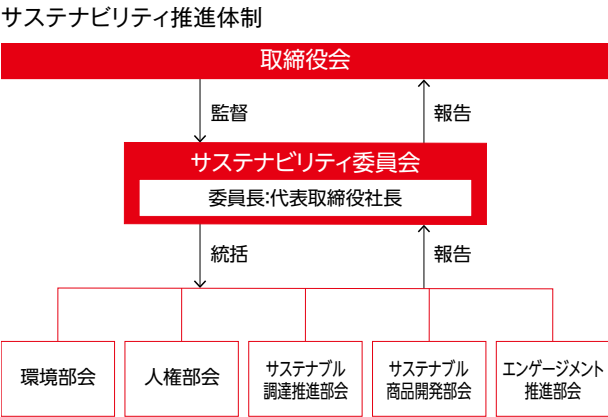


# サステナビリティ推進体制とマテリアリティ

エスビー食品グループでは、サステナビリティ推進体制のもと、重要度の高い課題（マテリアリティ）を特定し、活動目標として「エスビー食品ミッション」を定め、第3次中期経営計画の目標とKPIを設定しています。

## サステナビリティ推進体制

当社グループのサステナビリティ推進体制は、エスビー食品の取締役会直轄組織であり、代表取締役社長が委員長を務める「サステナビリティ委員会」を中心に構築しています。同委員会の下には、複数の部署が連携して取り組む5つの部会（環境部会、人権部会、サステナブル調達推進部会、サステナブル商品開発部会、エンゲージメント推進部会）を設置し、サステナビリティに関する目標の設定や進捗状況の評価などを行っています。



## サステナビリティ委員会および各部会の活動

2024年度はサステナビリティ委員会を2回開催し、各部会の協議事項に基づいて、サステナビリティ課題に対するモニタリングや推進部会への指示・アドバイ

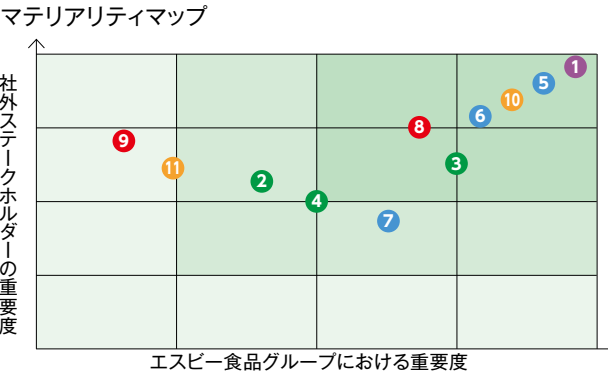
スを行い、その活動を取締役会へ報告しました。各部会の役割と2024年度の活動内容は以下の通りです。

|              | 役割                                   | 主な活動                                                                           |
|--------------|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 環境部会         | 気候変動や生物多様性などの環境課題への取り組み推進(目標策定・進捗管理) | ・カーボンニュートラル対策ロードマップの策定、排出量削減策の検討<br>・環境経営、気候変動、生物多様性への継続的な対応検討(📌 関連ページ：P43-44) |
| 人権部会         | エスビー食品グループの人権デュー・ディリジェンス体制の構築・運用の推進  | ・当社の事業活動における人権リスクへの対応、人権デュー・ディリジェンスロードマップの作成検討(📌 関連ページ：P45)<br>・人権に関する社内教育の拡充  |
| サステナブル調達推進部会 | 自社製品に関連する持続可能な原材料調達(コミットメント)の推進      | ・持続可能な調達に関するコミットメント達成に向けた活動(📌 関連ページ：P33)<br>・持続可能な調達に求められる中長期課題の抽出および対応策検討     |
| サステナブル商品開発部会 | 持続可能な製品の企画・開発に必要な情報収集・発信と活動の推進       | ・サステナブル商品開発方針の推進<br>・カーボンニュートラル対策ロードマップに則った商品政策・開発の推進(📌 関連ページ：P36)             |
| エンゲージメント推進部会 | 価値創造の源泉である従業員の意識改革と好循環の推進            | ・エンゲージメント向上に向けた各施策の実行(📌 関連ページ：P31)                                             |

## マテリアリティ【重要課題】特定プロセスとエスビー食品ミッション【活動目標】の策定

エスビー食品では、外部の専門家の協力のもと、食品業界に関連する社会課題を網羅的に抽出し、社内外のステークホルダーへのアンケートを通して重要度を評価し、その結果を踏まえて、当社にとって重要度の高い課題（マテリアリティ）を特定してきました。第3次中期経営計画の策定に際し、企業を取り巻く環境や社会情勢の変化などを考慮したうえで、マテリアリティの見直しを行いました。今後も第3次中期経営計画が終了する2025年度末を目安として、社会からの要請事項を鑑み、サステナビリティ委員会が中心となって定期的な見直しを行っていきます。

さらに、特定したマテリアリティの活動目標として「エスビー食品ミッション」を掲げています。この活動目標のもと、事業を通じて持続可能な社会と企業の実現を目指し、バリューチェーンの各段階において、



※数字は以下のマテリアリティの項目と連動しています。

社会・環境に配慮した製品の提供、環境負荷の低減や、ダイバーシティの推進といったさまざまな活動に継続して取り組んでいきます。また、「エスビー食品ミッション」は、第3次中期経営計画の各戦略においても反映されています。

エスビー食品ミッションに基づく目標（第3次中期経営計画 非財務目標）\*2025年3月期実績はP19-36に記載

| エスビー食品ミッション        | マテリアリティ(重要課題)                                         | KPI                            | 2026年3月期 目標        |
|--------------------|-------------------------------------------------------|--------------------------------|--------------------|
| 安全・安心への取り組み強化      | ①食の安全・安心(品質など)                                        | 品質保証部門と各工場による「品質保証協議会」の実施率     | 100%               |
| 環境負荷の低減            | ②気候変動による食料不足・農業衰退<br>③地球温暖化・気候変動<br>④資源枯渇             | 石油由来プラスチック製パッケージ削減率：2020年度比    | 3%減                |
| 社会・環境に配慮した製品の提供    | ⑤食品廃棄(フードロス)の発生・増大<br>⑥食品容器に起因する環境問題<br>⑦海洋プラスチックごみ問題 | 家庭用レトルト製品のレンジ対応化率              | 40%                |
| グローバル社会に適応した多様化の推進 | ⑧食のニーズの多様化への対応(宗教、信条、アレルギーなど)                         | 主要香辛料、パーム油、紙の持続可能な調達を推進*       | —<br>(📌 関連ページ：P33) |
|                    | ⑨働き方の多様化への対応(子育て・介護などとの両立、ワークスタイル変革推進)                | 男性・女性の新卒採用比率                   | それぞれ40%以上          |
|                    |                                                       | 男性の育休取得率                       | 80%                |
|                    |                                                       | 年次有給休暇取得率                      | 80%                |
| お客さまや従業員の健康・安全     | ⑩食による健康被害(食物アレルギーなど)                                  | 従業員エンゲージメント指標の向上率：2022年度比      | 5%増                |
|                    |                                                       | レシピサイト掲載の減塩レシピ数                | 60レシピ              |
|                    | ⑪労働者の健康・安全(労働災害など)                                    | カレー製品(即席ルウ、レトルト)の塩分削減率：2020年度比 | 1.5%減              |
|                    |                                                       | 「食事」「運動」「睡眠」に関する生活改善プログラムの実施率  | 70%                |
|                    |                                                       | 保健師・栄養士による特定保健指導の実施率：期間累計      | 100%               |

※「持続可能な調達に関するコミットメント」、2030年目標